



関中央ロータリークラブ

2020-2021 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 川村紳一 副会長 西田健一 幹事 石原妙生 クラブ会報委員長 大藪太

2020~2021年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「一人ひとりが輝く」

～会員同士の絆を大切に～



ロータリーは機会の扉を開く

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会
第 2029 回例会 2021 年 1 月 14 日 (木) / 担当 会長・幹事
テーマ 「会長新年のご挨拶」・「金婚式・銀婚式を迎えて」

*会長新年のご挨拶 川村 紳一会長

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和3年の新春を穏やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は世界的に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、過去に類を見ないその脅威に直面した1年でありました。関中央ロータリークラブも44期の始まりから東海北陸道グループの研修、大会、GTM、IA年次大会等々中止又は延期になりました。当クラブも例会場確保に努め、コロナ感染対策に努めてまいりました。又持出し例会においては、行事の短縮、簡素化にして上半期は何とか例会を進めてきました。昨年12月に入りコロナ感染者が拡大し、今年に入って東京では一気に1,000人を超えて2,000人台になりました。一方、岐阜県でも同じように感染者が増加し一時100人を超えました。関市に於いても感染者が5~6人、一時は10人になり、他人事では無くなりました。

関中央ロータリークラブも、クリスマス・結婚記念例会、新春例会、台湾景文高校交流事業を中止せ

ざるを得ない状況で一大イベントが無くなり大変残念でなりません。今年2月末から3月に掛けてワクチンの接種が始まるとの事です。早期実用化により感染拡大の防止策を講じつつ、社会活動が動き始めればロータリー活動も希望を持って活動が出来ると思います。コロナが少し収まって来れば、結婚記念例会・新春例会を組合わせた例会を開催したいと思いますので、その時は皆さんにご協力をお願いします。

今年は丑年です。牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。さて、私たちロータリアンは自らの職業を通じて社会に奉仕することだと先輩方から教わりました。牛は私たちと通じるものがあります。丑年に向けて今年こそ新型コロナウイルスが収まり、ロータリークラブが

通常の活動を再開出来るように心から願っています。

昨年度延期になったオリンピック・パラリンピック。コロナ禍での開催可否の中、一生懸命練習に励んで来たアスリートの為にも、今年の夏にも開催されることを祈っています。

年頭に当たり、関中央ロータリークラブの皆様方のご多幸とご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

***佐藤 忍君 「金婚式を迎え」**

昭和 45 年、私が 25 才の時の結婚で、現在 75 才。4 人の子どもに恵まれ、孫は上が 21 才、下が 3 才で 10 人。この 50 年、妻には大変苦勞をかけてきました。長男が 3 才で、長女が 1 才のいちばん人手が掛かる時期に私は税理士資格取得のため全く育児に協力することなく勉強に没頭できた事、これも妻の協力あつてのことです。税理士事務所開業当初は顧客先も少なく、生活が大変な時期もあり、これも妻の理解で乗り切ることができました。ロータリーには平成 8 年に入会させて頂き 24 年になります。この間にはいろいろ経験させて頂きました。特に思い出にあるのは青少年交換で二女をベルギーに派遣させて頂き、また 6 人の派遣学生を我が家に 2 ケ月ずつ延べ 1 年間受け入れたことです。交換学生が慣れない日本の生活に戸惑うなか、妻が献身的に接している姿を見ていると頭が下がります。男の出る幕はありませんでした。また受け入れた学生の親とも交流ができ、ベルギー訪問やオーストラリア旅行も経験できました。オーストラリアの家族とは今でも交流が続いています。この先何年生きられるか判りませんが、エメラルド婚式 (55 年)、ダイヤモンド婚式 (60 年) 目指して妻とともに精進していきたいと思ひます。

***長谷部 貴司君 「結婚 25 周年を迎え」**

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお祈ひします。昨年暮れに、石原幹事様より今年結婚 25 周年だと伝えられ、思い起こせば結婚してもう 25 年も経ったのかと感じました。妻は 1 歳年下で高等学校を卒業してから知り合い、交際を始め私は数年後に家業を継ぐ為、静岡県のコンクリート二次製品会社 (同業社) さんへ修行に行く事になり、3 年間程遠距離恋愛になりました。その後家業に入

り、5 年半の交際を得て 26 歳の時に結婚しました。新工場建設計画の時に入社し、新工場の計画立ち上げ、工場稼働等もあり、夜遅く帰宅する事も多々ありました。翌年には J C に加入をさせて頂き、ほぼ毎日夜家に居ない日々が続き、数年後には営業職となり、一段と帰宅が出来ない状況が続き、家庭と子育ての事はすべて妻に任せきりで、負担を掛けておりました。今回の新型コロナウイルスの影響で会合や夜のお付き合いの方もなくなり、夜家庭で過ごす時間が多くなり、妻の有難み、家庭の有難みを得られる事ができ、家庭の大事さを痛感させられ、今後も家庭を大事にと思ひております。

<次例会の案内>

第 2030 回 2021 年 1 月 28 日 (木)

「職場例会」

集合場所・時間：ふる里農園 午前 11 時 30 分

担当：職業奉仕委員会

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止させて頂く場合がございます。